

全体のインプット(使用量)

クリーンエネルギー	
太陽光発電	72.2千kWh
マイクロ水力発電	3,084.7千kWh
エネルギー	154,946.7千kWh
都市ガス	1,726.2千m ³
LPガス	0.81千m ³
重油	59.8kl
ガソリン	0.03kl
軽油	0.8kl
車両利用によるガソリン	69.9kl
車両利用による軽油	1.9kl
車両利用による都市ガス	0.7千m ³
紙 (A4換算)	27,432千枚
薬品	
硫酸	1,003 t
ポリ塩化アルミニウム	13,826 t
塩素	815 t
次亜塩素酸ナトリウム	391 t
苛性ソーダ	1,650 t
粉末活性炭	2,835 t

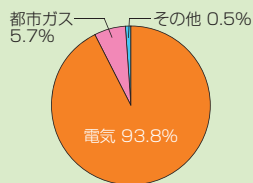
庁舎におけるインプット(使用量)

エネルギー	
電気	2,315.1千kWh
都市ガス	107.6千m ³
LPガス	0.05千m ³
重油	3.5kl
ガソリン	0kl
車両利用によるガソリン	58.8kl
車両利用による軽油	1.7kl
車両利用による都市ガス	0.7千m ³
紙 (A4換算)	26,110千枚

電気の使用によるCO₂の発生は、水道事業における環境負荷の中で重要なものの一つです。水道水をお客様にお届けするまでには、浄水場の設備運転や水を送るポンプの運転に多くの電気を使います。

下の円グラフからは、発生するCO₂のうち電気の使用によるものが9割以上を占めていることがわかります。

CO₂の発生要因内訳



⑥ 配水池

きれいになった水をためておきます

給水量
325,514,325m³
浄水場の出口で計測した水量

配水塔

水の圧力や量を調整して家庭などに水を送ります

給水場

家庭や学校に水を送ります

有効水量
321,522,108m³
漏水量などを除いた使用上有効とみられる水量

塩素を入れて消毒します

送水ポンプ

水を給水場に送ります

オゾン接触池

におい等をオゾンで分解します

活性炭吸着池

におい等を活性炭で吸着させます

高度浄水処理

川や沼の水の汚れがひどく、通常の浄水処理ではにおい等が残ってしまう時に適した処理です
印旛沼を水源とする柏井浄水場の東側施設、高滝ダムを水源とする福増浄水場と江戸川を水源とするちは野菊の里浄水場で行っています

庁舎におけるアウトプット(排出量)

CO ₂	1,264.8 t-CO ₂
NO _x	1.0 t
SO _x	0.3 t
一般廃棄物	116.2 t

全体のアウトプット(排出量)

CO ₂	63,416.8 t-CO ₂
NO _x	25.4 t
SO _x	17.3 t
浄水場発生土量	25,208 t
(再資源化量)	25,208 t)
一般廃棄物	153.9 t
浄水場発生土以外の産業廃棄物	41.6 t
(水質センターを含む) ※2	